



柴垣治樹氏 《進蘇利古；一臈》

日本を代表する笙作家の柴垣建男の4男として生まれる。6歳から雅楽の手ほどきを受け、15歳から本格的に雅楽演奏家として活動する。

笙・大笙・右舞・楽箏を専門とし、その他に歌・打楽器など雅楽全般を元宮内庁式部職首席楽長・日本芸術院会員の豊英秋師に師事。国内、海外での公演で共演する。2000年上海万博で貴徳の舞人として出演。2010年には自身が代表となる雅楽団体[主韻会]を立ち上げ、東海各地で幾多の雅楽演奏会を実施している。現在名古屋を拠点にして雅楽演奏家の育成、派遣、企画プロデュースに活躍しており東海の雅楽界に旋風を巻き起こしている。



松久貴郎氏 《御神楽；元拍子、管絃；一句・鞆鼓、舞楽；箏・管主管理》



熱田神宮で楽人として奉仕する父のもと、8歳より箏・管を習い始める。箏・管を元宮内庁式部職首席楽長大窪永夫師に、左舞を元宮内庁式部職首席楽長池邊五郎師に師事。岐阜県を拠点に活動を行う。2017年に自身の演奏団体となる[雅楽松風会]を立ち上げ、演奏・プロデュース・育成事業を行う。海外公演では過去に計6回延べ7か国の公演に参加。また、雅楽曲の現代アレンジを行う「トラロ会」に所属し、公演やCD収録を行う。天理大学雅楽部指導コーチ。2020年 岐阜市芸術文化奨励賞 受賞。

参州雅楽社中

雅楽を楽しみ、広め、自己研鑽する有志の集まり。岡崎を拠点に毎回新しい演目に挑戦しながら年に1、2回の演奏会を行っている。その都度、三河、尾張から様々なメンバーが集まり、技術向上と交流を図る場となっている。毎週の練習会のほか、講習会、学校への雅楽指導、式典演奏、個人レッスンなども提供する。入会の会費や会則などはなく志があれば誰でも参加できる。初心者、シニアなど、多彩なメンバーが各自のペースで雅楽に親しんでいる。



Facebookもチェック  @sansyuugagaku

(注) 演奏会の内容については変更の可能性があります

～新型コロナウイルス感染拡大防止のためお願い～

- ご来館当日はご自宅で検温し、発熱または風邪の症状のある方、体調のすぐれない方は来館を控えてください。
- マスクを正しく着用してください。
- 手指の消毒や咳エチケットの取行をお願いいたします。
- お客様同士十分な間隔を確保し、密集を避けてください。
- 客席内、ホワイエでの会話、出演者へのお声かけはお控えください。
- 出演者へ面会はできません。
- チケットにご氏名、連絡先をご記入の上お持ちください。
- 個人情報情報は感染拡大防止のため公的機関に提供する場合があります。なお一定期間保管したのち破棄いたします。